

第2学年 道徳科（人権）学習指導案

- 1 主 題 生命の尊さ
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい

郷土の人たちの人間愛に満ちた必死の生き様から、戦争の悲惨さと生命の尊さについて考えを深め、人間としての誇りをもって生きること、不当な差別やいじめを許さない態度を養う。

4 指導計画

○学級活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間 「学級目標」 ・仲間や学級、社会の出来事に関心を持ち、自分の考えを伝える。 ・互いが笑い合い、成長し合える学級にしていくためには何が必要かを考え、実践していこうとする意欲を高める。



○総合的な学習の時間・・・3時間 「人権作文」 「人権に関する意見発表会」 ・人権問題について意見交流を通して人権意識を高め、自分たちに何ができるかを考えさせる。	○学級活動・・・2時間 「人権講演会」 （森口健司さん） ・差別の現状から人間らしく生きることについて考えを深めさせる。	○道徳科・・・・・・・・・・・・・・1時間 「生き方を考える」（自作教材） ・社会で起きている不合理な事例を自分の身の回りに置きかえ、間違った生き方をしていないか考えを深めさせる。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------



戦争の時代を生きた人々の姿から学ぶ人権教育		
サイパン陥落後、日本がどのような考えで国を護ろうとしたかを学ぶ・・・6時間		
【対馬丸事件】 「さようなら沖繩」 （ドキュメンタリーアニメーション） ・戦時下の中で、少年少女たちが、どのような境遇におかれていたかを学ばせる。 ・攻撃により失われた命を思い今の自分に向き合わせる。	【神風特別攻撃隊】 「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」（映画）（自作教材） ・日本の将来を担う優秀な若者たちがどんな思いで生き、沖繩へ飛び立ったのかを考えさせる。 ・戦争による様々な犠牲を払った歴史を経て、現在の平和な日本があることを学ばせる。	【沖繩戦】 「沖繩戦のこと」 （わたしの願い） ・軍の中にも沖繩戦の被害の大きさを伝え、島を護ろうとした事実と、戦争は最大の人権侵害であることや二度と繰り返してはいけないものであることを理解させる。



【平和学習について】	
○総合的な学習の時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間	「島田島・慟哭の海の現場海岸訪問」
○道徳科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間（本時3/3）	
「慟哭の海—少年兵の救助—」（徳島県版 私たちの道徳）	
・勇敢さや人間愛に満ちた生き様から、生命の尊さについて、考えを深めさせる。 ・郷土に生きる一人として、今後、地域のためにどのように貢献できるか考えさせる。 ・自分自身の考えや思いを伝えるとともに、仲間の発言について感じたことをまとめ、発表させる。	



【修学旅行に向けて】

・長崎原爆資料館や長崎平和公園での見学を通して、命の尊さや平和について再確認させる。

5 本時の学習

(1) 目標

生命の尊さを理解するとともに、仲間と共によりよく生きていこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値

D-(19) 生命の尊さ

(2) 普遍的な学習のテーマ 生命の尊重

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 これまでの学習を振り返る。	○これまで学んできたことを振り返らせる。
2 仲間や学級、そして命を尊重する生き方とは、どのような生き方なのかを考える。	○差別やいじめがなく、よりよい生き方や学級のために自分にできることとは、どのようなことなのかを考えさせる。①②
3 班で意見をまとめ、全体に発表する。	○自分の思いや考えを仲間に伝えたり、傾聴したりすることを促す。③

(4) 評価

○生命の尊さを理解することができたか。

【知識的側面】①

○仲間と共に、よりよく生きていこうとする意欲を高めることができたか。

【価値的・態度的側面】②

○自分の思いや考えを仲間に伝えたり、傾聴したりすることができたか。

【技能的側面】③